

中学生 × 大学生  
地域課題解決プロジェクト

“若人 まちづくりクラブ”

---

大学生チーム：秋口楓、太田ほの香、嶋龍之介、高橋和子

- ① 事業テーマの提示  
テーマコンセプト
  
- ② 事業構想に至った背景（問題意識）  
社会変化・事業の対象者/対象地域（掛川）におけるメリット
  
- ③ 事業における最終的な展望
  
- ④ 具体的な取り組み  
5W1H  
テーマ & 活動例
  
- ⑤ 事業運営の継続性について  
組織構成  
広報・発信の方法  
収支計画

中学生が、

大学生をブリッジパーソン（伴走者）として

掛川のまちづくり課題を解決する事業の中で、

自己実現力を養成する

それを達成するための事業として

わこうど

「若人 まちづくりクラブ」

地域の課題解決プロジェクトを「地域クラブ」化

中学生が「社会貢献・まちづくり」との距離感を縮める

自身や周りの「過ごしやすさ」につながることを実感する

→そんな「地域クラブ」を大学生がサポートする

# 地域クラブとは

地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組むことを目的に、地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働をすることで、休日の運動部活動から段階的に地域移行していく部活動改革のこと。

## 指導者不足...現状

- ・ 競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担。
- ・ 地域では、スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない。

### ...どんな指導者が求められているのか

地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実のために、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、クラブチーム、プロスポーツチーム、民間事業者、フィットネスクラブ、大学のような多様なスポーツ団体等や、地域学校協働本部や保護者会といった学校関係の組織・団体が、活動の実施主体として望まれる。

### ...市の具体的な施策

令和8年夏に部活動を終え、地域クラブ体制に完全移行するため、新たな地域クラブの創設準備を進めている。また、令和6年4月、サッカー一部が設置されていないエリアに新たなサッカークラブが先行創設される。それにあたり、1月に体験会と説明会が開催された。

令和8年夏にどのような地域クラブ体制になっているかわかるように作成した「かけがわ地域クラブ実施体制（案）」によると、中1～中3の男女が参加対象で、小学生や大人が共に参加するクラブもある。創設予定のクラブは、指導者と相談して活動曜日や時間帯を決定。ただし、複数地区の生徒が集まることや指導者の勤務状況をふまえると、平日の活動は夜間が中心となることが考えられる。

『仮説：指導者とともに、“伴走者”が必要とされているのではないか？』

# 中学生×大学生

「まちづくり」地域クラブ

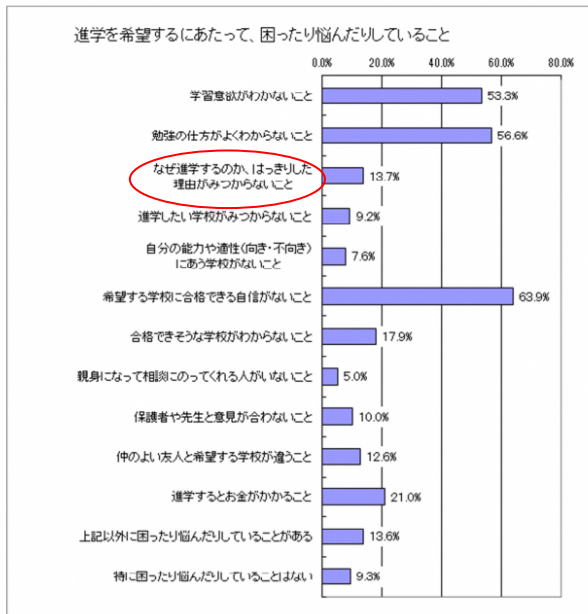
社会の環境が変化し続け、あらたな職業がどんどん生まれ、個人の人生選択が多様となった。  
さらに、人生100年時代と呼ばれるようになり、より豊かで充実した人生をすごすために生涯学習が推進。

生涯学習とは「生涯行うあらゆる学習」を指し、学校教育はもとより、  
家庭教育・社会教育・スポーツ活動・ボランティア活動などさまざまな場所で行う学習。  
生涯学習の目的はより豊かな人生を送ることであり、自分に合ったものを選択することが重要。

このような時代を迎える中、中学生のうちから学校以外の場所での体験や学びが  
自己肯定感の向上・成功体験の積み重ねにつながり  
将来的な自身の人生選択・設計において貴重なものとなってくる。



## 2. 事業背景 【現代日本の社会的な潮流】

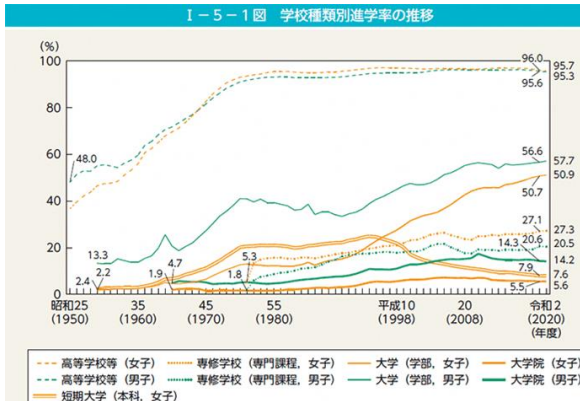


進学を希望するにあたって、自分の将来像を明確化できていない中学生が一定数存在する。

[https://www.nier.go.jp/shido/centerhp/career\\_jittaityousa/pdf/3\\_2\\_3.pdf](https://www.nier.go.jp/shido/centerhp/career_jittaityousa/pdf/3_2_3.pdf)

内閣府男女協同参画局(2020)

[1-5-1図 学校種類別進学率の推移 | 内閣府男女共同参画局 \(gender.go.jp\)](#)



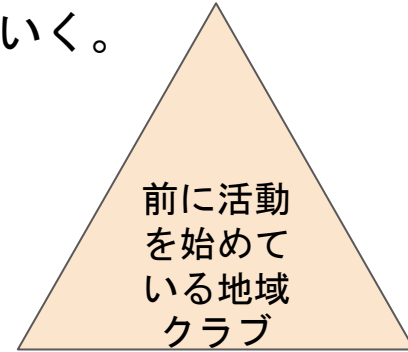
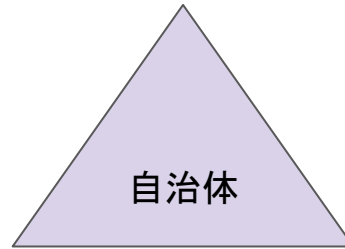
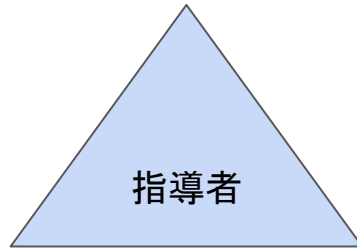
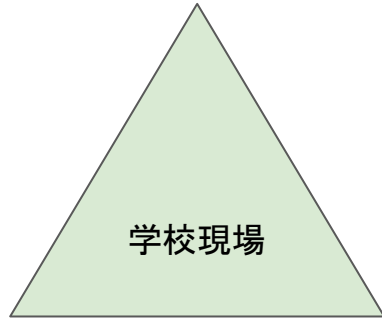
日本の高校卒業後の進学率（高等教育・専門）は年々増加傾向にある。だが、高等教育進学後も就職やキャリアの方向性が決まっていない学生は約25.3%も実在する。(マイナビ,2023)

中学生は、自分自身の人生（ライフプラン）と向き合う岐路に立たされている。

異世代交流を媒介としながら、自ら問いを立てて考え実行していく体験を重ね、将来への選択肢を広げてほしい。

## 今回の事業への思い

これまでの学校部活動の形では実現できないことを地域クラブ化することによって  
中学生が自分がやりたいことを自分で見つけて、  
どんどんやっていく力を高めていくことができる環境をつくる。  
なかでも、やりたいことにチャレンジできるようにしたい、  
新種目や気軽な活動など、ニーズに合わせた部活動をしたいといった思いをもつ  
掛川市内の中学生を主に対象にしていく。



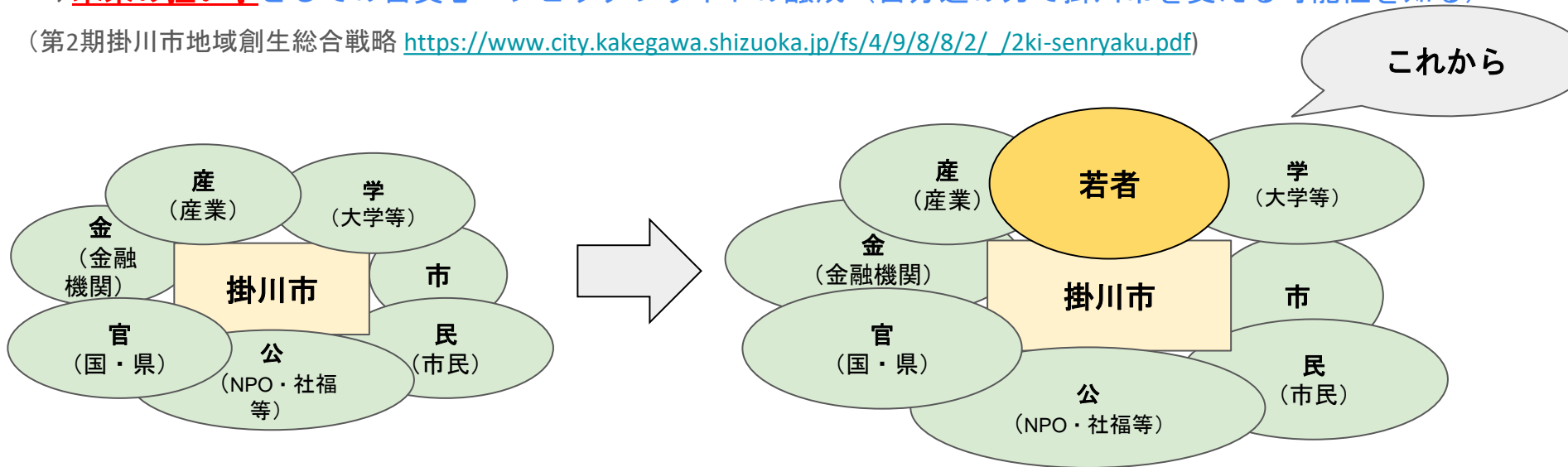
自分の将来が思い描けない、明るい見通しをもてない中学生が  
自宅以外の自分の居場所の選択肢を作る、  
学校以外の人と関わるといった経験をし、さまざまな選択肢を知る機会を提供する。

## 2. 事業背景 【掛川市におけるメリット】

【掛川市が掲げる「協働のまちづくり」を実現する力の養成】

→ **未来の担い手**としての自負心 シビックプライドの醸成（自分達で掛川市を変える可能性を知る）

（第2期掛川市地域創生総合戦略 [https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/4/9/8/8/2/\\_/2ki-senryaku.pdf](https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/fs/4/9/8/8/2/_/2ki-senryaku.pdf)）



→社会貢献度、人間関係の構築、自己成長への繋がり（責任感、協力・チームワーク、社会問題への理解）

最終目標は、非認知能力である「**自己実現力**」の養成

## 2. 事業背景 【(小) 中学生をとりまく実態】

### ① 小学校時代から「社会・地域貢献」に対する興味の芽生え

2020年度から文部科学省がSDGsの学校教育を開始 [jisedai09\\_02.pdf \(gender.go.jp\)](#)

+ ESGやwell-beingへの取り組みが始まる (みんなのしあわせを考える教育)

総合学習における「まちづくり教育」の定着 [https://www.jstage.jst.go.jp/article/cpij1/38/0/38\\_0\\_47/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/cpij1/38/0/38_0_47/_pdf/-char/ja)

### ② 中学生の部活動廃止

令和8年の夏より部活動が廃止され、地域クラブへ所属することになる

(<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/136762.html>)

一方で

【中学校の部活動廃止によるデメリット】

集団活動や社会規範、社会情動スキル、対外交流、才能の開花等の機会減少

[データで考える子どもの世界|特集|ベネッセ教育総合研究所 \(benesse.jp\)](#)

→部活動廃止のデメリットを地域クラブによって補完する必要性がある

地域 (サードプレイス) の多機能化が求められている 居場所づくり+見守り+教育

社会・地域課題解決への関心はあるけれど、何をしたらいいか分からない...

→ 第一歩として、**自分たちの住む「掛川」のまちづくりを実践的に学ぼう！**

① 「協働性」「市民主体性」「シビック・プライド」を体得・継承するしくみづくり

まちづくりがまちづくりを呼ぶ掛川へ

② 掛川市の将来的な関係性人口の創出

関係性人口→UIIターン・移住→流出歯止めの流れのきっかけへ



「新しい掛川」を創出する担い手の養成

①Whom（ペルソナ）

どこの地域クラブに所属するか悩む女子中学生

>中1, 掛川西中, 令和8年度入学生（部活動を決めかねている）

家族は4人, ボランティアに興味がある, 祭り好き

地域みんなのために「なにか」したいけれど何をすればいいか分からない

②What

地域クラブ（参加者：中学生 主催者：掛川市 メンター：大学生）

地域事業者と協働し、OODAループを重視しながら

まちづくりプロジェクトの構想→実現→利益創出までを実践的に学ぶ

③How

6ヶ月間で1つのプロジェクトに取り組む

>原則週1活動（オンラインと対面）ハイブリッド形式で開催

⑤ Who

掛川市内在住の中学生

掛川に関わりたい大学生

これらを下支えする大人の集団

⑥ When

毎週金曜日、18:00~19:40

⑦ Where

基本：the Port kakegawa、プロジェクト内容によってはフィールドワークを含む



#### 4. 具体的な取り組み 【プロジェクトテーマ】

---

テーマ例1：若人クラブ 海岸清掃隊

Observe（観察）

実際に海岸へ行って観察する（どこの海岸に・どんなゴミが・どのくらい落ちているのか）

Orient（状況判断、方向づけ）

海岸の現状から自分たちにできることを見出す（ゴミを再利用し、価値創出を目指す）

Decide（意思決定）

案を検討し、実際に何を実行するのかを決める（ゴミを再利用したキーホルダーの作成）

Act（行動）

案を実行する、その結果を分析・視察して自分たちにできることを更に拡大する  
（キーホルダーを実際に販売する・商品の種類を増やす など）

#### 4. 具体的な取り組み 【若人クラブ 海岸清掃隊】

---

Why : 掛川市の海岸に流れ着いたゴミがたくさんあるから綺麗にしたい

How : OODAループに乗っ取って進めていく

- ①海岸にどのくらいのゴミがあるか視察に行く
- ②できること＝海岸清掃&グッズ作成 → 実行することとして決定
- ③清掃を行い、そのゴミでグッズを作成するワークショップを開催

What : 海岸清掃、グッズ作成ワークショップ、ミーティング

How much :

収入→なし

支出→グッズ制作材料費 (¥1,000)

#### 4. 具体的な取り組み 【プロジェクトテーマ】



#### 4. 具体的な取り組み 【プロジェクトテーマ】

---

テーマ例2：若人クラブ 名産づくり隊

Observe（観察）

どんな名産品、人気商品があるのかりサーチ

Orient（状況判断、方向づけ）

自分たちが販売するのに、どんなものが適切なのか考える

Decide（意思決定）

案を検討し、実際に何を実行するのかを決める

Act（行動）

案を実行する、その結果を分析してまたリサーチして自分たちにできることを再検討する

#### 4. 具体的な取り組み 【プロジェクトテーマ】

---

Why : インバウンド向けに掛川をPRする

How : OODAループに乗っ取って進めていく

- ①掛川が発信したいイメージを分析、名産品を調査、インバウンド需要をリサーチ
- ②お茶を使ったドリンクの販売を行うことに決定
- ③ラグビーW杯開催時のイベントにて出店し、実際に販売を行う

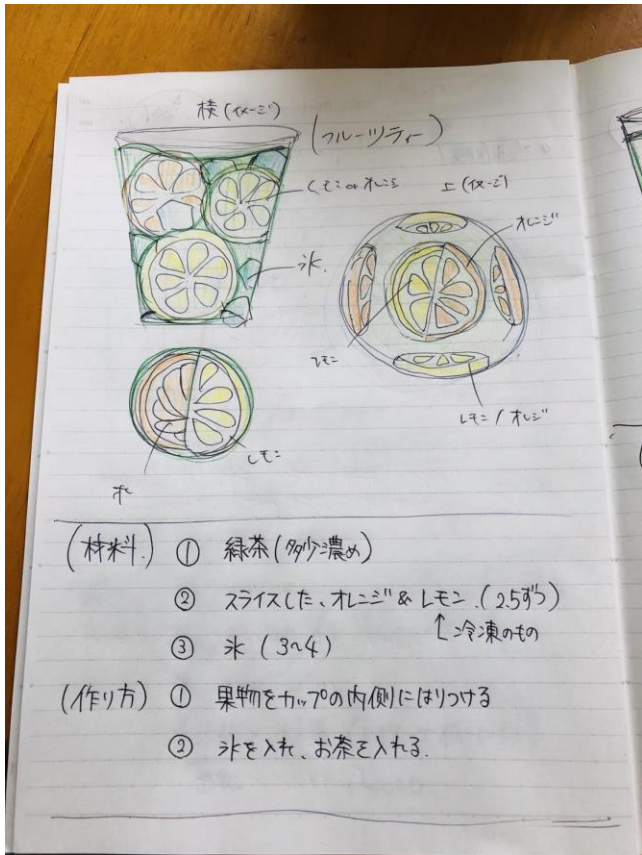
What : 「かけがわ茶エンナーレ2019」にて出店&販売

How much :

収入→かけがわ茶エンナーレ助成金 ( ¥ 80,000 )

支出→材料費 ( ¥ 65,000 ) 、調理器具 ( ¥ 10,000 ) 、設備費 ( ¥ 15,000 )

#### 4. 具体的な取り組み 【プロジェクトテーマ】



大学生は（交通費補助以外に）経済的報酬は無く、ボランティアに近い  
→伴走する大学生にとっての持続的なメリットが必要

- 大学生の興味・関心を軸とした活動展開

教育学部生：「従来の教育実習とは異なる形で子どもと触れ合い『地域の教育』のあり方を

知ることは逆説的に学校教育の機能を明確化し、実践力の養成につながる」として諸大学で推奨されている

([https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/040/siryo/attach/\\_icsFiles/afieldfile/2016/10/24/1378683\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/040/siryo/attach/_icsFiles/afieldfile/2016/10/24/1378683_001.pdf))

- 短期的な未来である就活や就職後だけでなく、生涯にわたってライフプラン作りの一助となる

まちづくりをテーマにイベントの提案→計画→実施といった実務的な体験をすることができる

（「ガクチカ」的要素）

地域課題の発見・解決を通して、地域への愛着が形成される→関係性人口のひとりへ

- 人的交流による意見交換・意思の共有

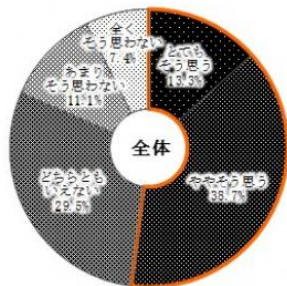
社会課題の解決意欲と行動のギャップを抱えている若者

伴走集団を構成する大学生は同じ志・価値観をもった同世代と「リアル」で繋がることのできる

→デジタルネイティブ世代にとって対面での繋がりは特別な意味をもつ

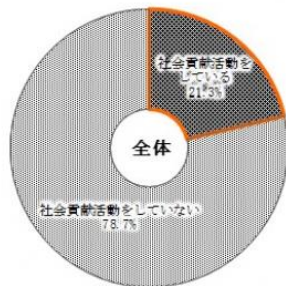
図表1：社会課題の解決意欲と行動のギャップ

環境問題・社会課題の解決の役に立ちたいか



全体= 1000

日頃社会貢献活動を行っているか



全体= 1000

日本総合研究所,  
「2022若者の意識調査 ―サステナビリティ、金融経済教育、キャリア等に関する意識―」,参照URL  
<https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/pdf/company/release/2023/0810.pdf>



## 【長期的運営のための組織化】

クラブメンバー（部員）

アクティブメンバー  
（中学生中心）

サポートメンバー  
（大学生中心）

### <役割>

- ・ リーダー/副リーダー等役職決め
- ・ 活動内容の方向性提案
- ・ 学校内での広報活動  
（クラブメンバー募集案内）
- ・ 詳細なプラン立てから活動の実践  
まで

### <役割>

- ・ 企画（活動計画づくり）
- ・ 書類（レジュメ・広報物）の作成
- ・ 会計（支出入の管理）
- ・ 施設の選定/機材・備品の手配
- ・ 各所企業/団体との調整
- ・ 広報SNSアカウントの運用

## ● 循環型運営

経験を積んだ中学生メンバーは、高校生・大学生となったときにも

サポートとして参加可能

● : 中学生

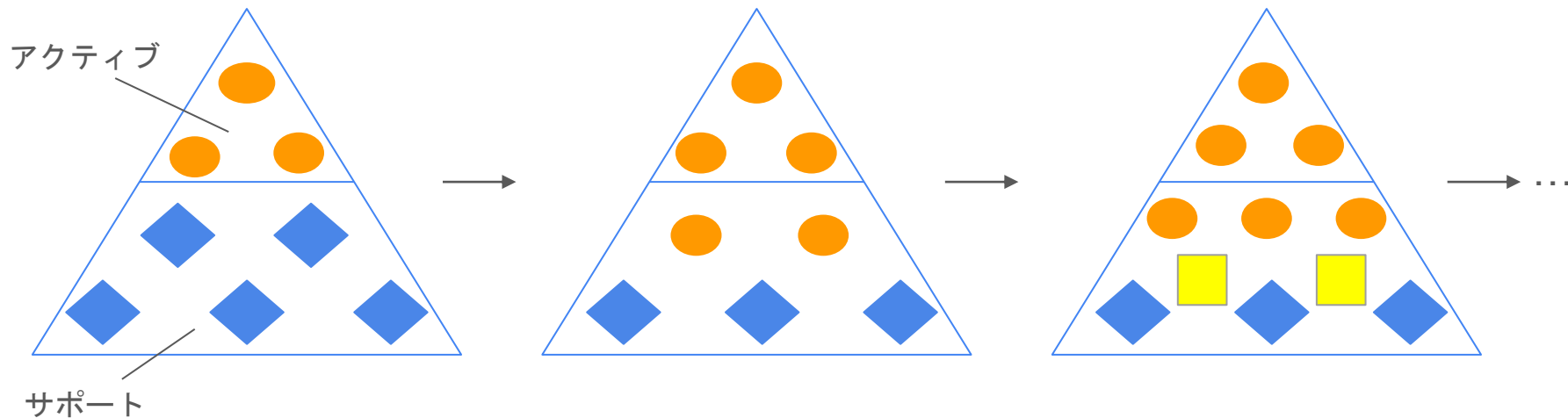
■ : 高校生

◆ : 大学生

スキーム1

スキーム2

スキーム3



主に、「**ポスター**」と「**SNS (XやInstagram)**」、「フリーペーパー（将来的に）」で発信

### 【中学生】

ポスター掲載場所：

ららぽーと磐田、制服販売店([掛川市立中学校の制服について - 掛川市 \(city.kakegawa.shizuoka.jp\)](http://city.kakegawa.shizuoka.jp))、学習センター、図書館、スポーツ用品店、本屋、進学塾等

フリーペーパー

### 【大学生】

ポスター掲載場所：

ららぽーと磐田、駅前（掛川、浜松、静岡）掛川自動車学校、静岡大学、県立大学、常葉大学（木村先生）HUVOC、大野木龍太郎教授など

各大学のボランティアセンターへ個別に連絡

⑧How much ⑨How many

初期人数：中学生 5人 大学生 3人

初期収入：参加費→7,500~10,000円（1,500~2,000×5人）

協賛、助成金、民間寄付金

初期支出：約50,000円（広告費、雑費、交通費）

交通費:2,000円(往復1人あたり)×3人=6,000円

雑費：ホワイトボード、ペン、ノートなど=5,000円弱

広告費：A1ポスター×20枚=27,251円、A2ポスター×20枚=9,319円

フリーペーパー×50枚=1,356円

(企業協賛先の広告を渡す代わりに地域クラブのフリーペーパーをおいてもらう)

## 5.事業運営の継続性について 【運営資金の獲得方法】

【実施団体】 [公益財団法人ノエビアグリーン財団](#)

【名称】 2023年度助成事業

【対象団体】

団体、児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体

【対象となる事業】

日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、青少年の健全な育成に寄与すること(1件あたり上限300万円)

申込受付期間 2023年12月1日(金)9:00～2024年2月29日(木)正午12:00 <https://www.noevirgreen.or.jp/grants/index.htm>

★さらに、

【実施団体】 [独立行政法人国立青少年教育振興機構](#)

【名称】 令和6年度「子どもゆめ基金」

【対象団体】

募集要項に該当する団体で、当該団体が自ら主催し、子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む団体

【対象となる事業】

活動分野は7つ、活動種類は4種類とし、令和6年4月1日(二次募集の場合は10月1日)以降に開始し、令和7年3月31日までに終了する活動

申込受付期間 一次募集、令和5年10月1日(日)～11月21日(火)17時締切

二次募集、令和6年5月1日(水)～6月18日(火)17時締切

<https://www.niye.go.jp/info/yukutoshi.html>

### 3. 具体的取り組み 助成金の取り方

---

#### 静岡県内の若手起業家や経営者の育成支援組織

「[一般社団法人静岡イノベーションベース \(SIB\)](#)」

SIBについての説明 <https://youtu.be/u9NdUGwmbSg>

SIB、月例会の開催情報：2023年2月9日（金）

開催場所：アゴラ静岡

講演者：アイピーシー 加藤さん

2023年3月8日（金）

開催場所：東海東京証券東京本店オルクドール

講演者：未定（千葉イノベーションベースとの協賛）

起業家支援団体「静岡イノベーションベース (SIB)」を立ち上げたが、その裾野を学生にまで広げたく、この静岡イノベーション奨学事業団 (SIS)を設立した

[静岡イノベーション奨学事業団 \(SIS\)](#) :

この財団は、静岡県の地域振興と発展に貢献する人材育成のため、静岡県内の大学及び高等専門学校等に通う生徒のうち、学業優秀な者に対する奨学金支給事業を行う。

昨年度の記事

[静岡県内の学生対象に奨学金 返済不要 本年度から | あなたの静岡新聞 \(at-s.com\)](#)

## 企業協賛の仕方について

掛川市における企業協賛のトリセツのようなものが記された

[https://note.com/hokori\\_to\\_kansya/n/n9c005bb49cd7](https://note.com/hokori_to_kansya/n/n9c005bb49cd7)

また、先日関わらせていただいたきくがわおんぱくの企業協賛の集め方も参考になると思います

[協賛協力店・企業 - きくがわおんぱく \(kikugawaonpaku.jp\)](http://kikugawaonpaku.jp)

### 注目の記事

#### イベント活性化へ 静岡市に協賛金明治安田生命

明治安田生命静岡支社（静岡市駿河区）の妹背俊紀支社長は4日、市役所静岡庁舎を訪れ、同市の事業「まちは劇場TRY（トライ）22」にエントリーしたイベント主催者に対し、独自に協賛金を贈る方針を田辺信宏市長に伝えた。同事業は新型コロナウイルス禍で停滞していたイベントの回復と継続を目指す取り組みで、同社は地域の経済活性化や文化振興を後押しする。

同事業では個人消費や交流人口拡大に資するイベントに対し、主催者に最大70万円の奨励金を支給している。同社は市の奨励金とは別に、イベントの規模や内容に応じて主催者に協賛金を贈る。地域貢献プロジェクトを展開している同社の妹背支社長は「市の事業と同プロジェクトの趣旨が一致する。静岡のまちをもっと元気にしていきたい」と話した。

市まちは劇場推進課の担当者は「イベントの継続には官民連携はもちろん、主催者と民間企業の『民民連携』も重要。事業を通じた関係団体の連携の輪を広げていきたい」と話した。

### 記事のリンク

<https://www.at-s.com/sp/news/article/shizuoka/1146495.html>